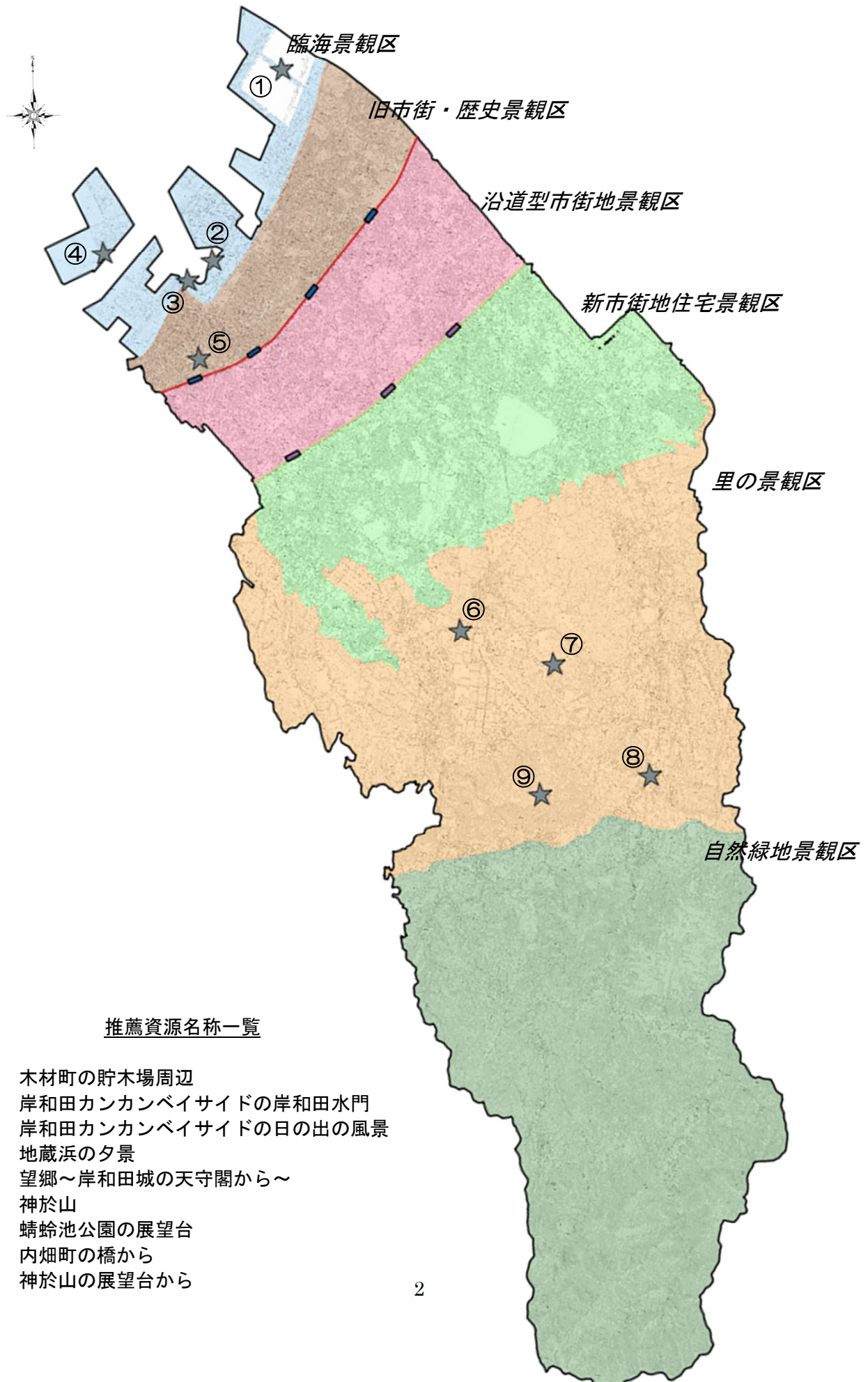


令和 3 年度

こころに残る景観資源（眺望景観）9 件について

令和 4 年 1 月 24 日
岸和田市景観審議会

ここに残る景観資源（眺望景観）の推薦箇所一覧



1. 推薦資源の詳細と講評

① 木材町の貯木場周辺

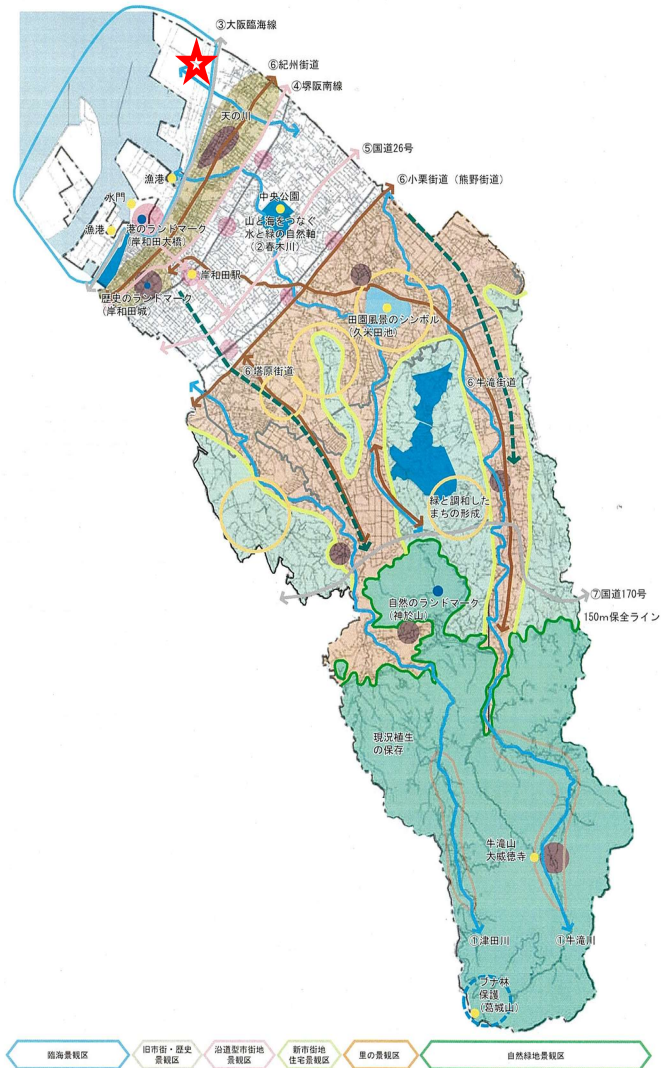
【写真】



【位置図】 大芝校区



【景観誘导图】



基本景観区域名	臨海景観区
景観軸	大阪臨海線
景観配慮地区	—

■エピソード 応募 No. 42「木材町の貯木場周辺」

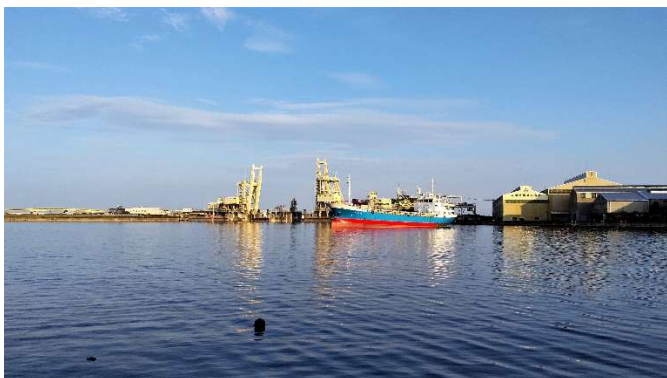
木材町の貯木場周辺は様々な景観が楽しめる絶景ポイントです。貯木場の見慣れないブロックや夕日、たくさんのカモメ、近隣の工場の雄大な姿。灯台。釣り人。季節や時間を問わず見どころがあるスポットだと思いますので一度足を運んで頂きたいと思います。(35 歳男性)

■講評

昭和 41 年に完成した木材コンビナートの貯木場（約 76ha）は、原木輸出量の規制等により原木取扱量が減少したため、現在水面の大半が低利用ではあるが、海面から出るコンクリート杭の風景は不思議な光景であり、他には見られない特徴的な景観となっている。貯木場の片隅に少量ではあるが貯木の風景が残り、かつて栄えていた海の産業がイメージできる近代的なここに残る眺望景観である。

② 岸和田カンカンベイサイドの岸和田水門

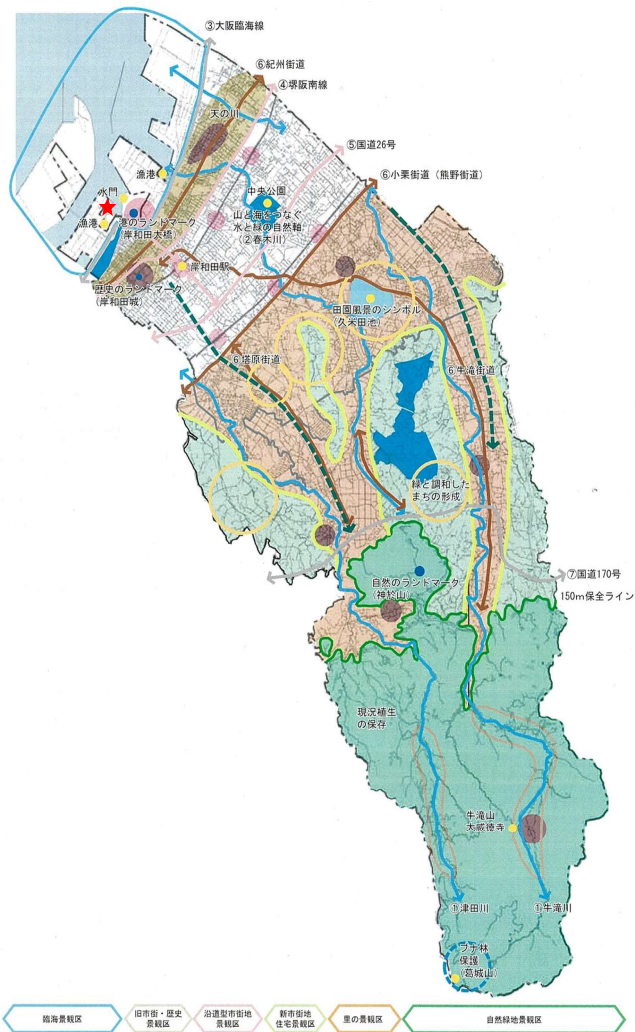
【写真】



【位置図】 朝陽校区



【景観誘導図】



基本景観区域名	臨海景観区
景観軸	大阪臨海線
景観配慮地区	—

■エピソード 応募 No. 38 「ハッピー景観③岸和田カンカンリバーサイド」

健康維持に朝夕毎日のウォーキングは欠かせません。晴天時の朝焼け・夕焼けに遭遇したときは爽快な気分になり何よりも得がたい気分を味わえます！（79歳男性）

■講評

カンカンベイサイドモールに隣接する岸和田旧港の沖合には岸和田水門がある。この水門は、通常時は旧港内外に出入りする船舶の航路になっており、津波や高潮の際には扉を海中に下ろし、外部からの海水の流入を防ぐ目的がある。現地から海を眺めた時、水門前をゆっくり進み、工業地に接岸する業務船から、港湾の産業が感じ取れる眺望景観となっている。

③ 岸和田カンカンベイサイドの日の出の風景

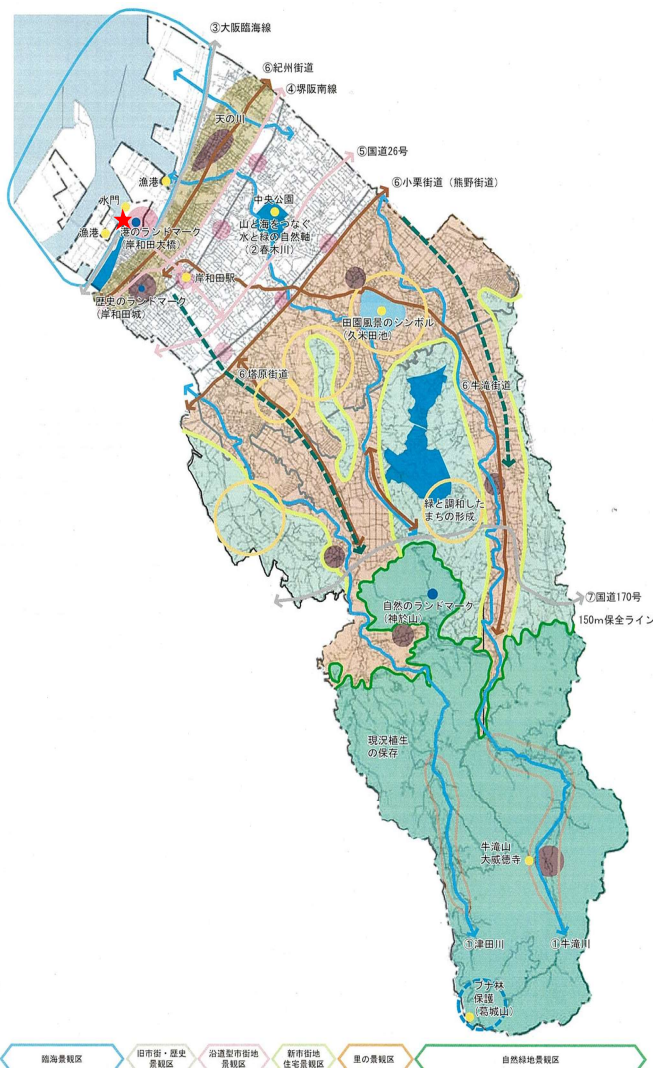
【写真】



【位置図】 朝陽校区



【景観誘导图】



基本景観区域名	臨海景観区
景観軸	大阪臨海線
景観配慮地区	—

■エピソード 応募 No. 40「ハッピー景観⑤岸和田カンカンリバーサイドの日の出風景」

健康維持に朝夕毎日のウォーキングは欠かせません。晴天時の朝焼け・夕焼けに遭遇したときは爽快な気分になり何よりも得がたい気分を味わえます！（79歳男性）

■講評

白く雄大な岸和田大橋（阪神高速湾岸線）の下には、旧港再開発事業として平成10年よりカンカンベイサイドモールとその周辺に遊歩道が整備された。人工の土木建造物の狭間から明け方の太陽が水面に映り、光る海と相まって朝の清々しさが伝わってくる眺望景観である。

④ 地蔵浜の夕景

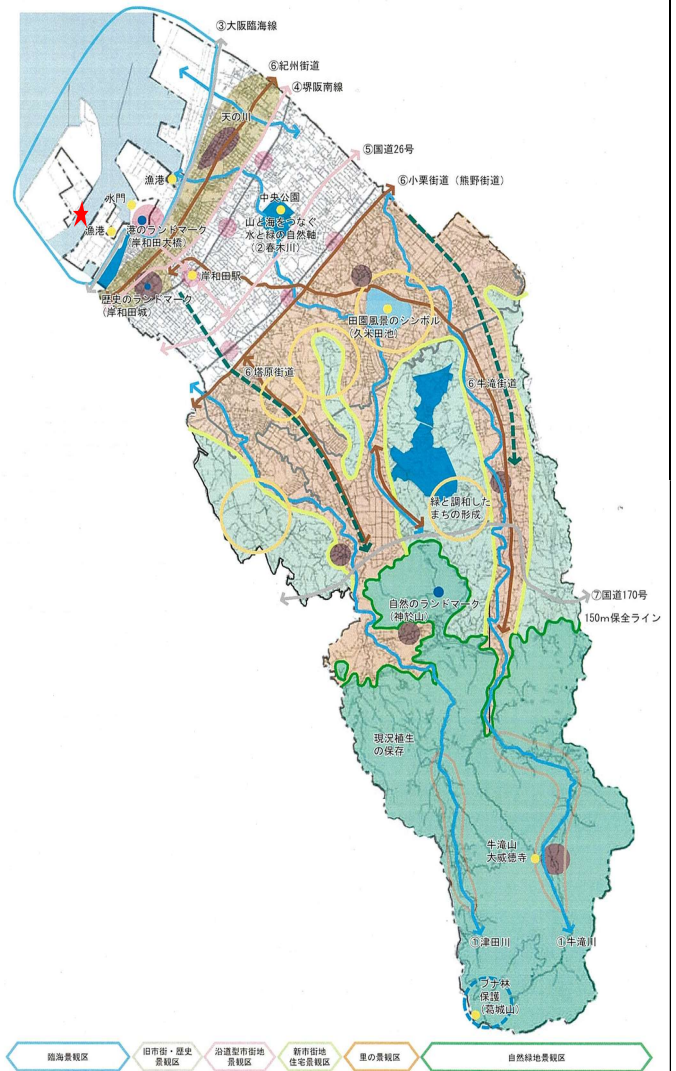
【写真】



【位置図】 朝陽校区



【景観誘导图】



基本景観区域名	臨海景観区
景観軸	大阪臨海線
景観配慮地区	—

■エピソード 応募 No. 36 「ハッピー景観①地蔵浜の夕景」

健康維持に朝夕毎日のウォーキングは欠かせません。晴天時の朝焼け・夕焼けに遭遇したときは爽やかな気分になり何よりも得がたい気分を味わえます！（79 歳男性）

■講評

地蔵浜町から阪南2区（ちきりアイランド）へ繋がる岸之浦大橋は自転車歩行者道路と区分されており、歩いて渡ることができる。橋の上から淡路島へ繋がる明石海峡大橋も見ることができた。夕日が沈む時に見られたこの景色はとても美しく、水平線へ沈む夕日と海面や、夕焼け空が山から海へとつながる景観は、岸和田の特徴でもあり、岸之浦大橋からの眺望をより多くの方に見ていただきたい。

⑤ 望郷～岸和田城の天守閣から～

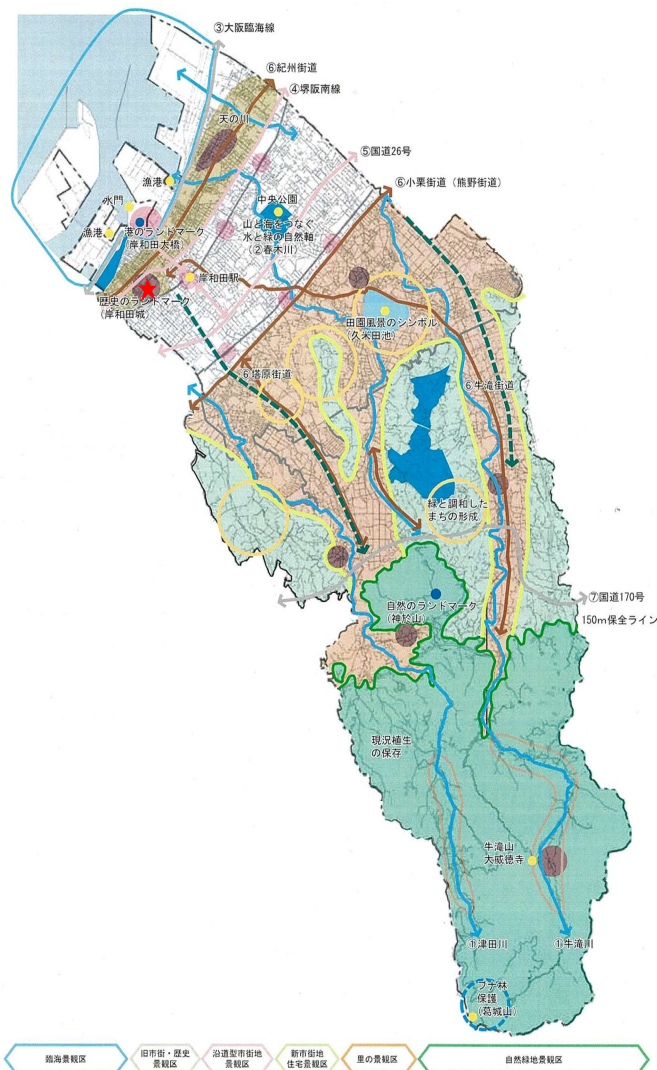
【写真】



【位置図】 城内校区



【景観誘导图】



基本景観区域名	旧市街・歴史景観区
景観軸	旧街道
景観配慮地区	岸和田城周辺

■エピソード 応募 No. 13「望郷」

私は岸和田市に在住して居りませんが、家内の実家が岸和田（本町）です。城下町の風情の感じられる所です。今まで祭りの当日、お城に入れる事が知りませんでした。天守閣には何度も登っていましたが、当日初めて登りました。江戸時代に殿様も同じような風景を眺めていたのかと思うと何となく楽しくなりました。チャンスがあれば是非登ってみて下さい。(79 歳男性)

■講評

平成 29 年に「続日本 100 名城」に選定されている岸和田城には年間平均入場者数、約 4 万人が訪れる。天守閣からは、国の名勝に指定されている「八陣の庭」や、紀州街道沿いにある瓦屋根の歴史的なまちなみを望むことができる。また、祭礼の宮入時には、12 町のだんじりが、お堀の周りに列を成し、城下町とだんじり祭りの風景が、いつまでもここに残るものと容易に理解できる。岸和田城を下から眺める景色と共に、市内を 360° 眺められる岸和田城天守閣からの景色も多くの方に体験してもらいたい眺望景観のひとつである。

⑥ 神於山

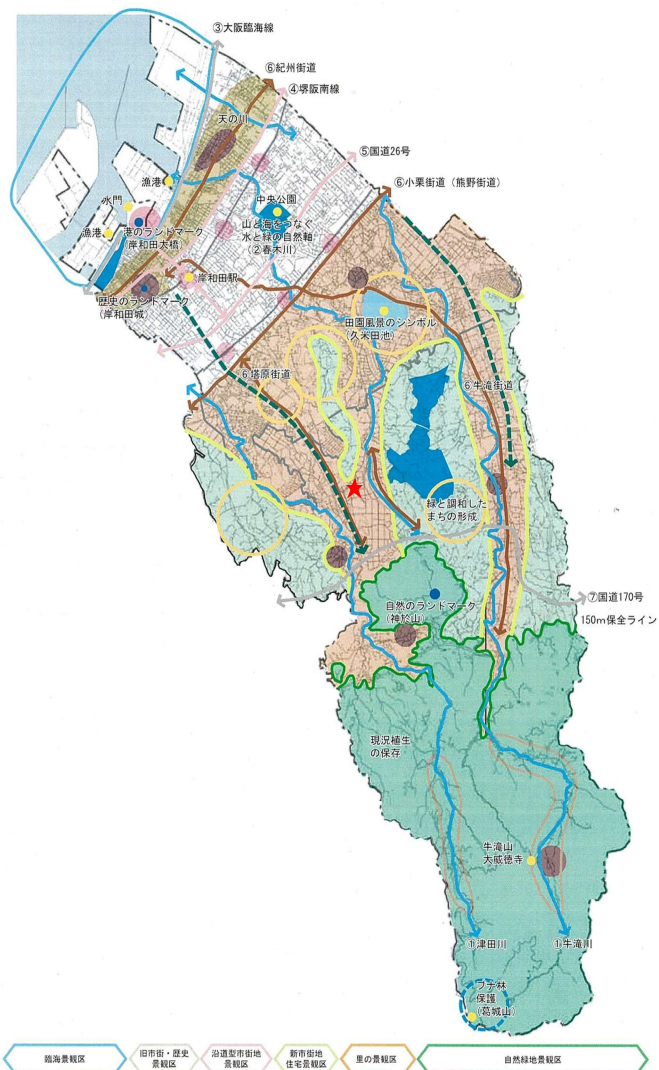
【写真】



【位置図】 光明校区



【景観誘导图】



基本景観区域名	里の景観区
景観軸	—
景観配慮地区	—

■エピソード 応募 No. 48「神於山」

たまたま通った道で、見晴らしがよかったので思わず撮りました。神於山にはいくつかの昔話があるらしく、神秘的な雰囲気は昔も今も変わらないのかなと感じました。昔の人もこの山を大切にされていて、「神於山」という名前を付けたのかなと思いました。この景観は、世代を超えたみんなのこころに残る景観だと思ったので、これからも大事にしていきたいです。(32歳女性)

■講評

神於山は、古から「神の於わす山」として、地元住民から崇拝され、里山として大切に守られている。農地整備された神於山改良区に接する道沿いからは、その神於山の全景を眺めることができ、空・雲・山と田園と組み合わせられ、穏やかでもあり伸びやかで神秘的な線形が見ることができる。普段、何気なく生活する中で、少し意識することにより、発見できた眺望景観であり、これからも地域住民に愛される景観として継承されるであろう。

⑦ 蜻蛉池公園の展望台

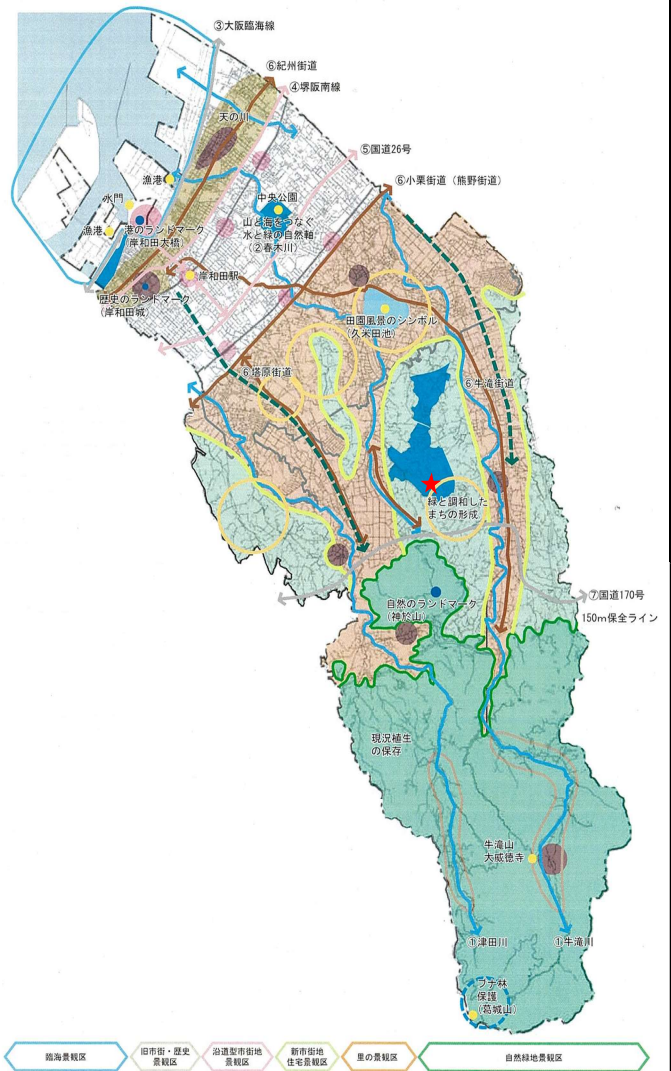
【写真】



【位置図】 八木南校区



【景観誘导图】



基本景観区域名	里の景観区
景観軸	—
景観配慮地区	—

■エピソード 応募 No. 22 「蜻蛉池公園の展望台」

蜻蛉池公園の展望台から下を眺めると、芝生の広場などの緑が一面に広がっており、遠くに神戸まで見ることが出来ます。ここからの景色を眺めていると、日常を忘れさせられるような気分になりました。(49 歳男性)

■エピソード 応募 No. 47 「蜻蛉池公園 展望台」

トンボの遊具や大芝生広場は知っている人も多いと思いますが、展望台があるのをご存知でしょうか。展望台の上からは公園の風景を 360 度見渡せ、天気の良い日には明石海峡大橋が見えます。(44 歳女性)

■講評

蜻蛉池公園は大きな池を中心として周辺をいくつかの丘が取り囲み、老若男女問わず身近に自然と親しめ、遊具の他に、花、スポーツ、BBQ も楽しむことができる。公園の奥の高台にある展望台からは、公園内の木々や池、里山の緑、市街地、大阪湾が一望でき、遠くに神戸まで見渡すことができる。まちなみとの調和や自然と共存する魅力ある眺望景観である。

⑧ 内畑町の橋から

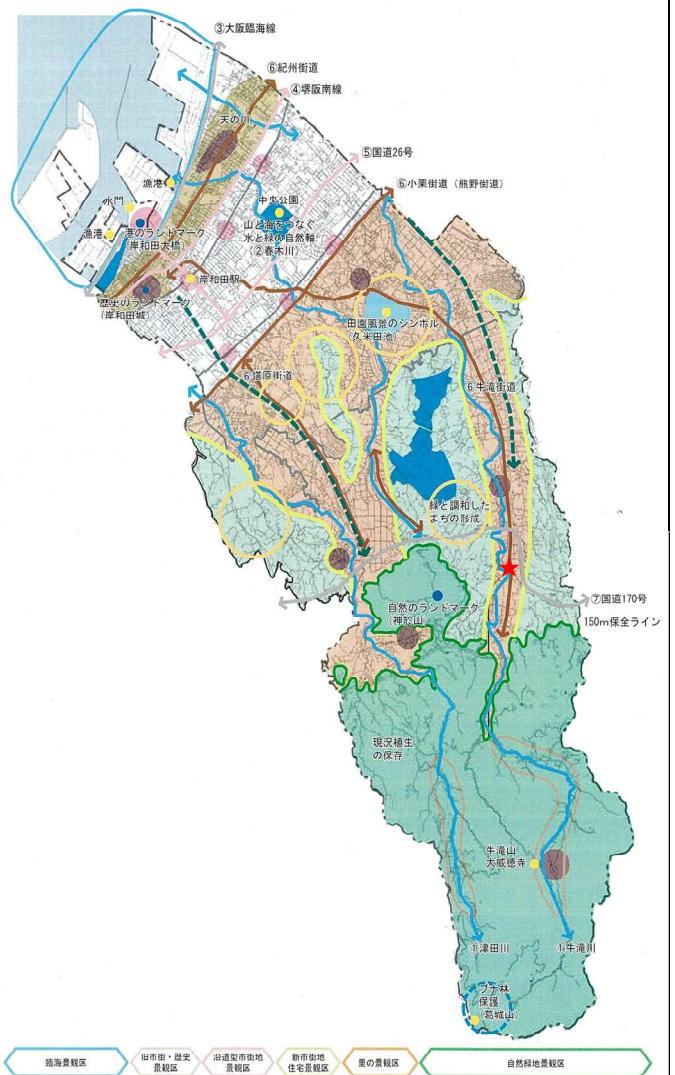
【写真】



【位置図】 山滝校区



【景観誘导图】



基本景観区域名

里の景観区

景観軸

牛滝川・津田川

景観配慮地区

—

■エピソード 応募 No. 20「内畑町の橋から」

サイクリングの途中に島を発見？内畑町には牛滝川に囲まれたところがあり、島国にきたかと錯覚する場所があります。フェンスや、電柱もないので、いい景色だと思います。(49 歳男性)

■講評

山滝中学校の裏に抜ける小道の小さな橋にさしかかると突然ひらける眺望。そこには曲がりくねった牛滝川に囲まれた離島とも思わせる地形に里の風景が広がっている。川、田、畑、農地のビニールハウス、集落の家並み、里山を一体に捉えられる隠れた名スポットである。深く地元民の生活に溶け込んだ景観であり、後世へと継承し、守っていききたい景観である。

⑨ 神於山の展望台から

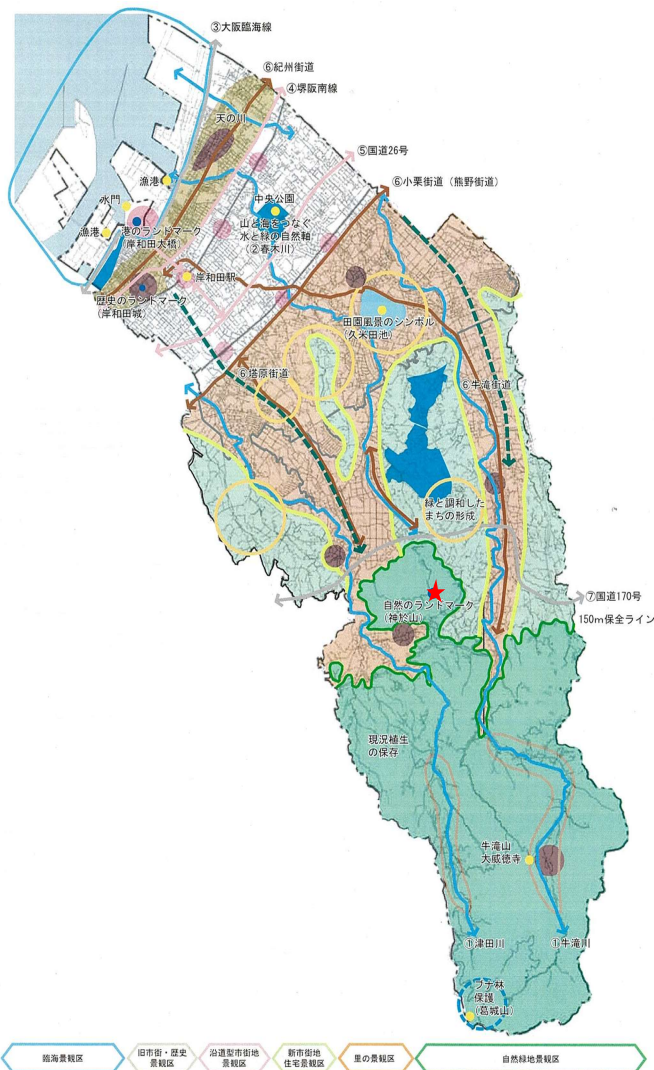
【写真】



【位置図】 東葛城校区



【景観誘导图】



基本景観区域名	里の景観区
景観軸	—
景観配慮地区	神於山周辺

■エピソード 応募 No. 17「神於山展望台から」

神於山には、過去に数回登ったことがありましたが、7月中旬、サイクリングでチャレンジしました。展望台まで行くには、かなり急な坂道で自転車を降りる羽目となり、大きな荷物を押しての登山となりました。途中、手も離せない状況で耳元に虫がちょっかいをかけてくるので、自転車で来たことを後悔しましたが、展望台に上って市内を見渡した時、その苦勞が吹き飛び、帰りの下り坂は爽快な気分となりました。(49 歳 男性)

■講評

神於山の展望台からは、広大な大阪平野が一望でき、圧巻の大パノラマを見渡すことができる。その景色からは地勢やまちの成り立ち、変化を感じられるため、岸和田を「見る」だけでなく「知る」ことができる。展望台付近では比較的遅い季節まで紅葉があり、ハイキングをしながら近景や遠景を楽しめる。今後も地域固有の魅力を感じさせる市民の誇りとなる景観である。

2. 総評

はじめに、本プロジェクトの実施に当たって、応募者をはじめ、まちかど審査にご参加いただきありがとうございました。また、各施設の管理者様には、募集をはじめ、まちかど審査や現地調査の実施に伴い、本プロジェクトのご理解とご協力を賜り、深く感謝を申し上げます。

今回実施したところに残る景観資源発掘プロジェクトのテーマである「眺望景観」では、山並みや海岸線などの自然地形との連続性が感じられるものや、まちなみとの調和や自然と共存する地域固有の魅力あるものとして合計50件の応募がありました。

例年、多くの市民等に参加していただいている『まちかど審査』では、岸和田のランドマークとなっている岸和田城や久米田寺・池、神於山など、地域固有の魅力が感じられる景観などを審査していただくことで郷土への愛着と新たな景観を発見するきっかけに寄与したことと思います。

本委員会では、選考委員会を11月中旬から12月までの期間に計3回実施し、一次審査では現地調査をするにあたってまちかど審査結果も参考にしながら選考基準に基づき選考しました。現地調査では、天気にも恵まれ円滑に実施するとともに、写真のフレーム枠では眺められなかったパノラマも楽しむことができました。また、エピソードを確認しつつ現地へ訪れることで、応募者の想いや地域への愛着を感じることができ、新たな『眺望景観』を発見し再確認することができました。

今後も本プロジェクトを通じ、岸和田の優れた景観に気付き、岸和田の魅力や賑わいが広く人々に認知され、継承されていくことを期待します。

岸和田 景觀 MODE